

市議会 だより

目次
CONTENTS

- 平成22年6月定例会 議案審議結果……………2P
- 議案の概要……………3P
- 議会基本条例の概要……………4～5P
- 議会に関するアンケート……………6～9P
- 一般質問……………10～15P
- 全国市議会議長会表彰・編集後記など……………16P



平成22年6月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第42号	豊前市税条例の一部改正について	総 務	賛成多数	可決
議案第43号	豊前市乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正について	文教厚生	全会一致	可決
議案第44号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	文教厚生	全会一致	可決
議案第45号	豊前市消防団条例の一部改正について	総 務	全会一致	継続 審査
議案第46号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正について）	総 務	全会一致	承認
議案第47号	専決処分について （豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	文教厚生	全会一致	承認
議案第48号	平成22年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	全委員会	全会一致	可決
議案第49号	専決処分について （平成22年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正 予算 第1号）	総 務	全会一致	承認
議案第50号	豊前市議会基本条例の制定について	—	全会一致	可決
意見書案 第1号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書(案) の提出について	総 務	賛成多数	可決
同意案第2号	豊前市固定資産評価員の選任について	—	全会一致	同意
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	全会一致	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	全会一致	異議 なし

議案の概要

平成22年第2回定例会は、6月4日から6月22日までの19日間の会期で開催されました。

本定例会には、条例7件、予算2件の合わせて9議案が提出され、議員提案を除く8議案がそれぞれ所管の常任委員会で慎重に審査され、うち1件が継続審査となり、残り8件は原案どおり可決されました。

なお、3月議会から継続審査になっていた意見書案1件は可決されました。

市長より人事案件2件、人権擁護委員の推薦に関する諮問案1件が出され、いずれも市長提案のとおり同意されました。

継続審査

《消防団条例の改正について》

消防団員の年齢要件を

60歳 ⇒ 65歳

に引き上げる案件でありましたが、「地区に若者が少なく、団員が確保できない」という意見がある一方、「新陳代謝が遅れ、団の高齢化につながる」という意見があり、さらに議論が必要ということで、継続審査となりました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

※固定資産評価員
(敬称略)
豊前市大字赤熊

福丸 和弘

※固定資産評価審査委員

豊前市大字下川底
則行 應史

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。

※人権擁護委員の候補者
(敬称略)
豊前市大字下河内

長谷山 美都子

“固定資産税の税率が100分の1.5”に改正されました!!

税率の改正により、税額が以下のように変わります。

例えば

改正前の税額

改正後の税額

100,000円 → 93,750円

160,000円 → 150,000円

※平成23年度分から実施

“乳幼児医療費支給制度”の改正

	乳 幼 児 医 療		こ ども 医 療
	0 歳 ~ 2 歳	3 歳 ~ 就 学 前	小学校就学から中学校終了まで
現 行	無 料	(通院) 600円/月 (入院) 500円/日 (月7日限度)	3 割 負 担 ※ひとり親家庭等医療、重度障害者医療により支援制度あり。
改 正 後	無 料	無 料	入院無料、通院・調剤 3 割 負 担 ※入院外はひとり親家庭等医療、重度障害者医療を適用。

※ 本年10月1日から実施

を制定しました!!



〈後列〉 爪丸裕和 磯永優二 渡邊 一 中村勇希 山本章一郎 秋成茂信 尾家啓介 岡田義則 吉永宗彦
 〈前列〉 福井昌文 鎌田晃二 岡本清靖 榎本義憲 今本文徳 尾澤満治 山崎廣美 古川哲也

議会基本条例の概要

昨年5月29日に、「議会制度調査特別委員会」を設置し、議会基本条例の制定をはじめとした様々な議会改革について、調査・研究を重ねてきました。延べ13回に及ぶ協議を経て、先の6月議会において、「豊前市議会基本条例」を全会一致で可決しました。

議会基本条例は、議会への市民参加を促進すること及び情報公開を推進することを大きな柱とし、議会の機能強化や活性化を図ることをめざしています。

議会基本条例は、前文と全28条の条文で構成されています。前文では、地方分権改革の進展に伴い、民意を反映する市民協働型社会の構築を図ること、さらに、二元代表制の一翼を担う議会として市民の負託に応え、市民にとって身近な開かれた議会の実現を図ることなどが定められています。

また、議会は市政における最高の意思決定機関として、市民の意思を的確に市政に反映させるため、公平・公正な議論を尽くし、市民からの信頼の確保に努めます。

議会基本条例の主な特徴は、次のとおりです。

議会の活動原則

- ◎ 議会が市民の代表機関であることを踏まえ、公正で開かれた議会をめざします。
- ◎ 市民参加を促進するため、市民にわかりやすい議会運営に努めます。
- ◎ 市の意思決定機関として議決責任を深く認識し、市民に説明責任を果たします。
- ◎ 議会内の会派は、政策の立案や提言に関し、合意形成に努めます。

議員の活動原則

- ◎ 議員は、市政の課題について市民の意見を把握し、市民の負託に応えます。
- ◎ 議会の構成員として、市民全体の福祉向上をめざします。
- ◎ 市民の代表としての自覚と良識を持ち、議員としての品位や倫理観を保持します。
- ◎ 議員は、政務調査費を有効に活用し、調査研究や政策提言の充実に努めます。

市民と議会の関係

- ◎ 市民のニーズを的確に把握し、市政に反映させます。
- ◎ 公聴会制度や参考人制度を活用し、市民が議会に参画できる機会を確保します。
- ◎ 請願や陳情を市民の政策提言と位置づけ、提案者の意見を聞く機会を設けます。
- ◎ 市民との意見交換の場を積極的に設けます。
- ◎ 委員会や全員協議会を原則公開とします。

『議会基本条例』



市民にとって身近な、開かれた議会をめざします。

◎ 議会に関する情報を市民に正確に伝えるとともに、市民が議会に関心を持つよう工夫します。

議会と執行機関の関係

◎ 議会は、二元代表制の一翼を担う機関として、市長と対等の関係を保ちながら、議会の機能を十分に発揮します。

◎ 一般質問は、市民にわかりやすいように、論点や争点を明らかにしながら、行います。また、今までの一般質問は、議員が質問し、それに対して市長等が答弁するという形式でしたが、今後は、市長等にも逆に議員に対し質問する権利を与え、議論の充実に努めます。

◎ 新たな事業や重要な施策に着手するときは、何のために行うのか、どういった検討や議論をしてきたのか、財源はどうか、その後の維持管理費はどうかなどに關する資料を提出させ、財政状況や投資効果等を見極めながら、議会としての責任ある判断をします。

◎ 予算や決算について審査する際には、わかりやすい資料を作成し、添付するよう、市長に義務付けています。

議会機能の強化

◎ 議会が言論の府であることを踏まえ、議員相互の自由な討議を積極的にを行い、議員間の合意形成を図ります。

◎ 委員会は、あらゆる行政課題に迅速・柔軟に対応するため、その専門性や特性を活かし、適切な運営に努めます。

◎ 委員会は、市民からの要請に応じ、所管する事項について、情報交換・意見交換を行います。

議員定数・議員報酬

◎ 議員定数については、別に条例を定めています。その見直しに当たっては、市政の現状と課題、将来の展望等を考慮します。

◎ 議員報酬についても、別に条例を定めています。その見直しに当たっては、特別職報酬等審議会の意見を尊重しながら、市政の現状と課題、将来の展望等を考慮します。

議会・議会事務局の充実

◎ 議員の政策能力を高めるため、研修や調査研究活動の充実を図ります。

◎ 議会事務局の調査・法務機能の充実強化を図ります。

◎ 議員の調査研究活動に役立て、市民にも利用できるように、議会図書室の充実を図ります。

最高規範性

◎ この条例は、議会に関する最高規範であって、議会に関する他の条例や規則は、この条例と整合性を図ることとなります。

◎ 議員は、この条例をはじめ、議会に関する他の条例や規則を遵守して、市民の信託に応えます。

具体化の推進

◎ この条例の目的や理念を具体化するため、常に議会改革に取り組みます。

議会に関するアンケートの調査結果がまとまりました

豊前市議会では、平成21年5月29日に、「議会制度調査特別委員会」を設置し、議会基本条例をはじめとした、様々な議会改革について調査研究をしてきました。

議会基本条例は、市民の皆さんに、議会をもっと身近に感じていただき、市政への関心を持っていただくことを大きな目的としています。そこで、特別委員会では、市民の皆さんが、議会に対してどれだけ関心があるのか、どれだけ議会のことを知っているのか、また、議会に対してどのような意見やご要望があるのか、などを把握するために、アンケート調査を実施いたしました。

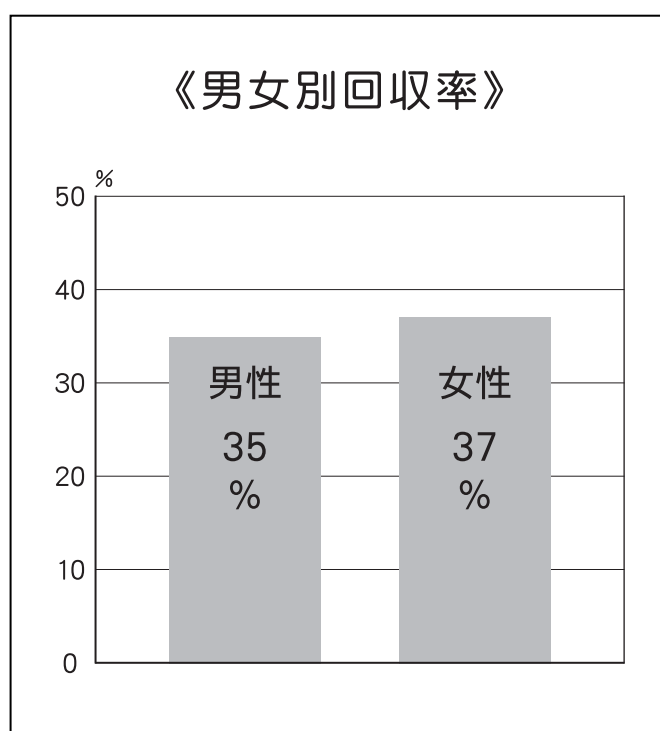
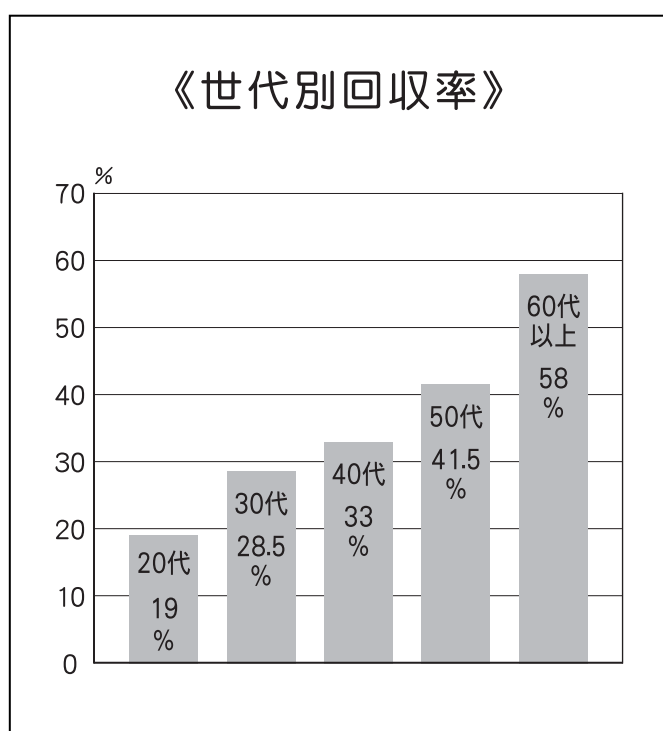
アンケートは、無作為抽出により市内1000人の方を対象に行いました。回収率は、全体で36%でした。

ご回答いただきました皆様には、心からお礼申し上げます。まことにありがとうございました。市民の皆さんにわかりやすく開かれた議会をめざして、今後の議会改革・議会運営に是非活かしていきたいと考えています。

◆ 調査の概要 ◆

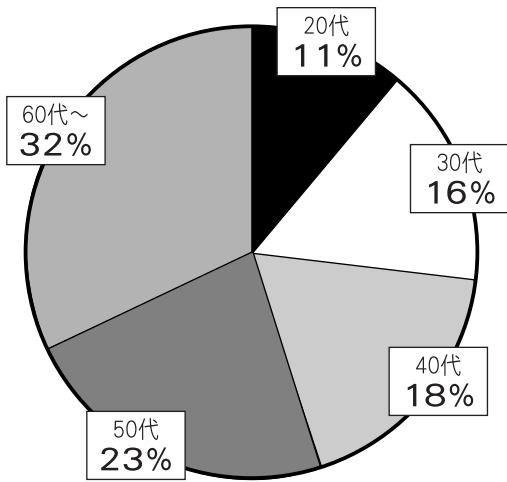
- 1 調査対象者** 1,000人（20代・30代・40代・50代・60代以上の各世代男女それぞれ100人）
- 2 実施時期** 平成22年2月10日から2月26日まで
- 3 回収率** 36%

世代別・男女別の回収率は、次のとおりです。

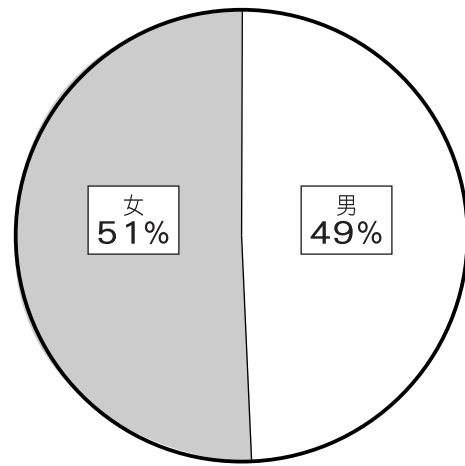


● 議会に関するアンケート ●

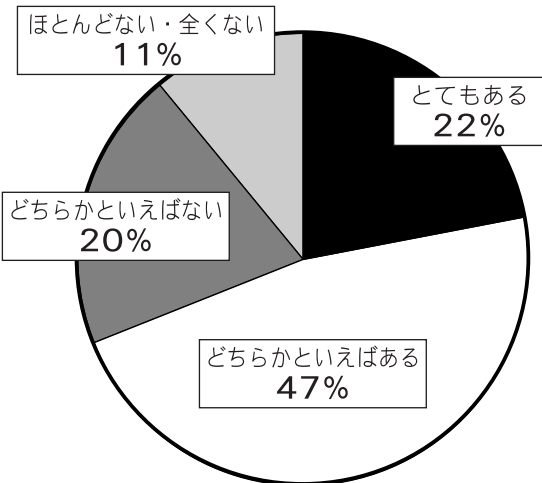
問1 あなたの年齢は



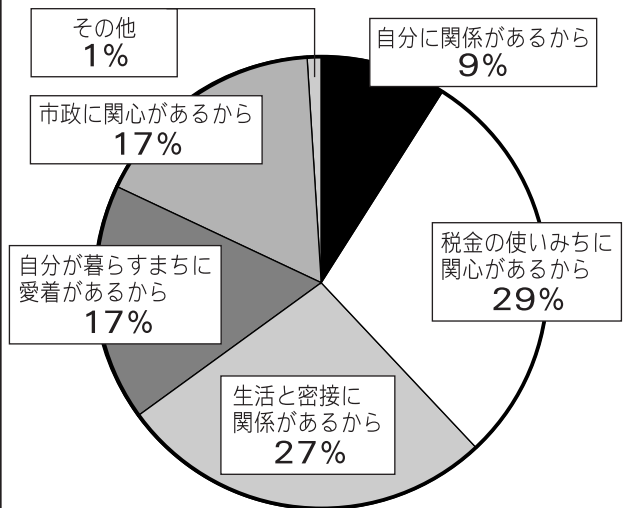
問2 あなたの性別は



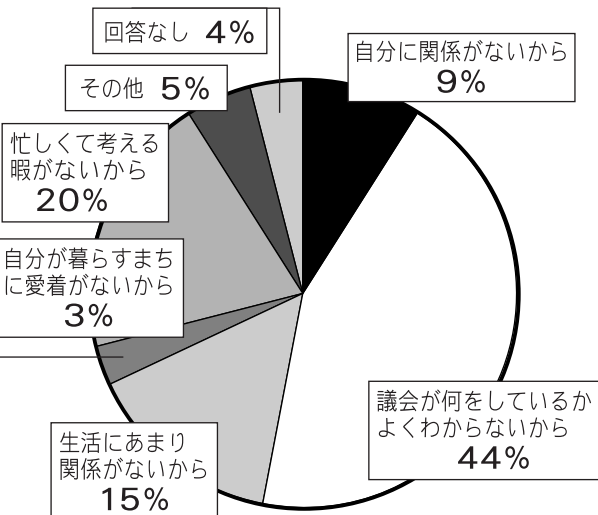
問3 議会でどのようなことが行われているか、関心がありますか。



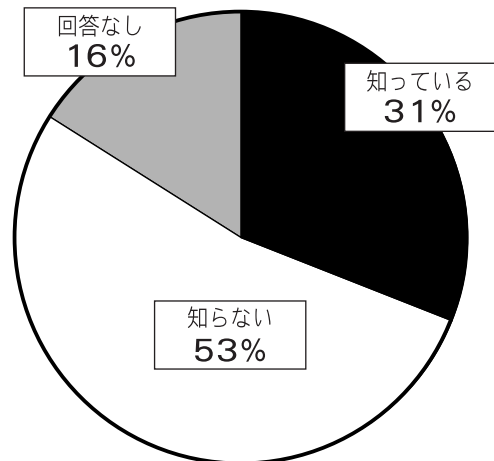
問4 関心がある理由は何ですか。(いくつ選んでもよい)



問5 関心がない理由は何ですか。(いくつ選んでもよい)

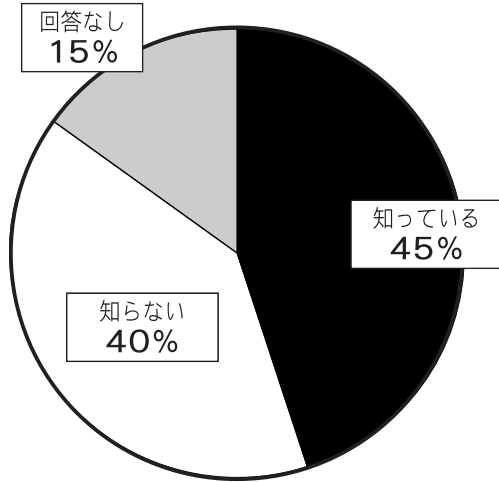


問6 議会の定例会は、年4回(3月、6月、9月、12月)開催されていることを知っていますか。

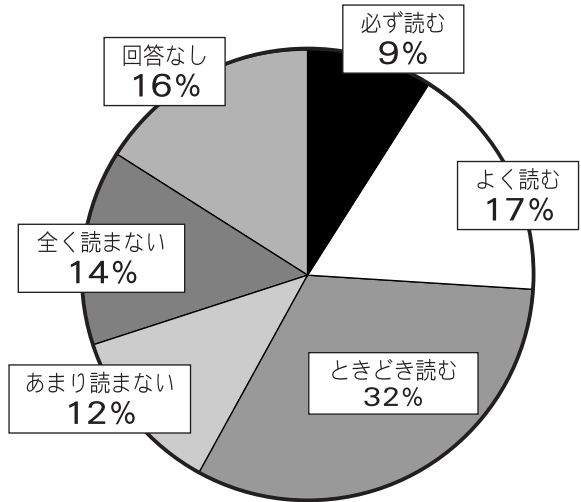


● 議会に関するアンケート ●

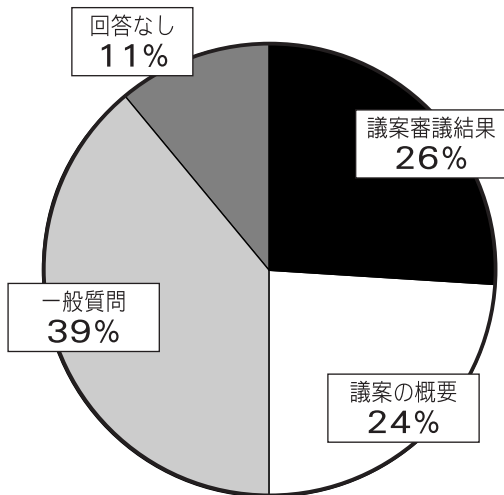
問7 現在、議員が17名いることを、知っていますか。



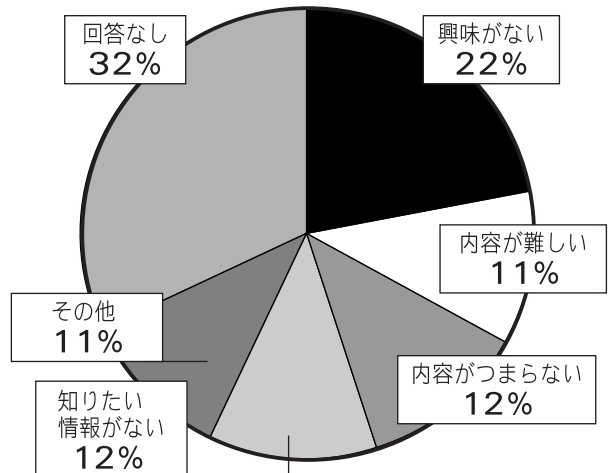
問8 議会だよりを読みますか。



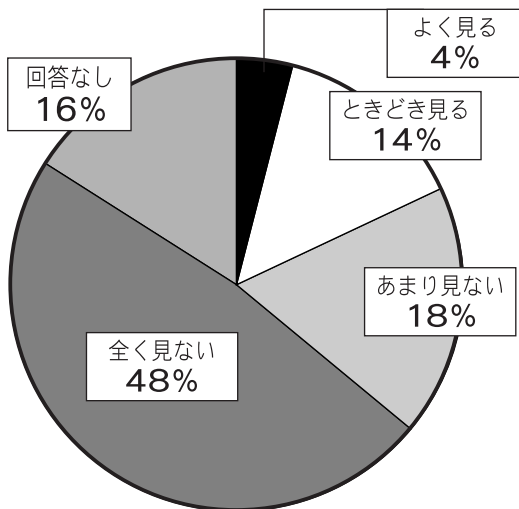
問9 どの部分を読みますか。
(いくつ選んでもよい)



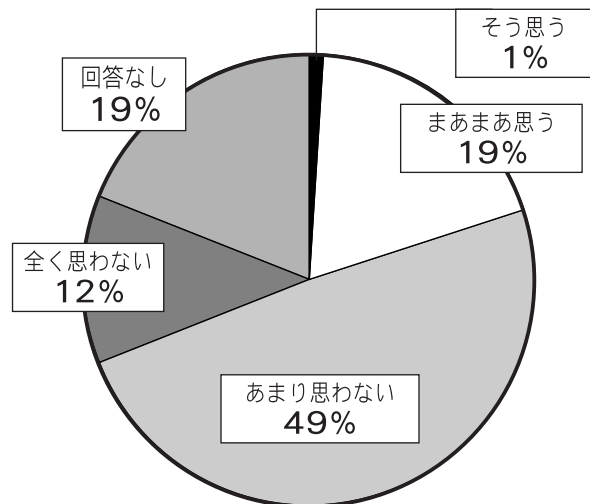
問10 読まない理由は、何ですか。
(いくつ選んでもよい)



問11 ホームページで、議会に関する情報を見ますか。

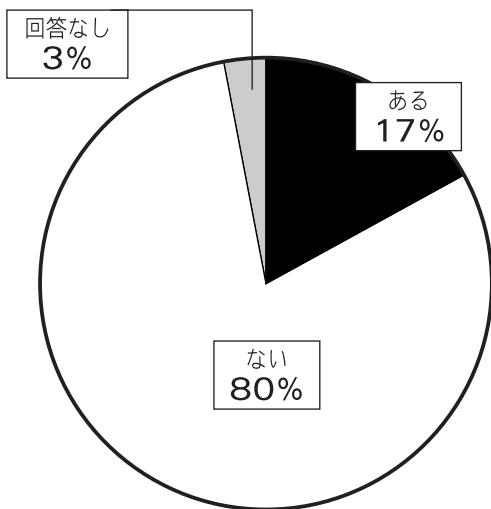


問12 市民の意見や声が議会に反映されていると思いますか。

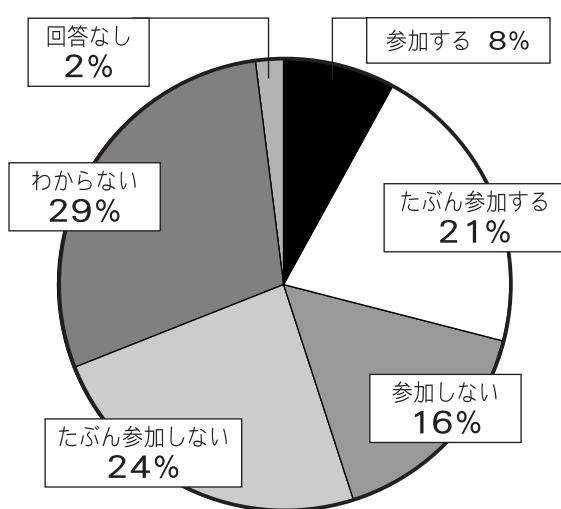


● 議会に関するアンケート ●

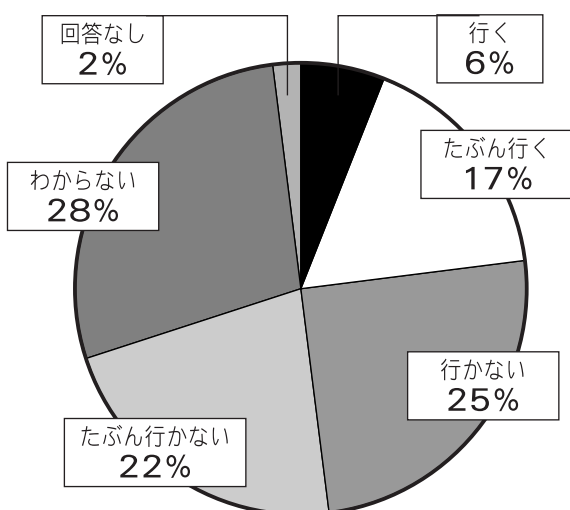
問13 議員に対して、市政に関する要望や要請をしたことがありますか。



問14 市議会が議会の審議内容等について報告会を開催した場合、参加しますか。



問15 休日や夜間に議会を開催した場合、傍聴に行きますか。



議会改革への取り組みや議会に対するご意見・ご要望をたくさんいただきました。そのうち、多く寄せられましたものをご紹介します。

議会改革への取り組みについて

- 定数を減らしてほしい。
- 市民との交流や意見交換会をしてほしい。
- 開かれた議会、ガラス張りの議会にしてほしい。
- 議員報酬や手当を減らしてほしい。
- 議会への関心が持てるような、市民参加できるような工夫をしてほしい。

議会に対するご意見・ご要望

- 住みよいまちにしてほしい。市の活性化をしてほしい。
- 税金の無駄づかいをなくしてほしい。
- 雇用問題に取り組んでほしい。企業誘致をしてほしい。
- 少子化対策や子育て支援をしてほしい。
- 高齢者対策に取り組んでほしい。



平成22年第2回(6月)定例会 一般質問

6月14日(月)			6月15日(火)						
健友会	吉永宗彦 尾家啓介 古川哲也	職業訓練センターの問題 子ども手当 豊前市所有の消防車 豊前市体育協会への補助金 水道企業団の自治体負担率の見直し 市立図書館 公契約条例の制定	豊友会	磯永優二 中村勇希 榎本義憲	保育料の見直し 学校教育等 児童・生徒及び市民の安全対策 国道10号線以北の土地利用計画と農業振興 就労機会の確保と地場産業の育成				
		ぶぜん風の会			山本章一郎 尾澤満治 岡本清靖	新産業ゾーン(築上北高校跡地)利用 築上中部高校跡地利用 子ども手当 農業振興 国と地方の関係	同志会	渡邊 一 岡田義則 爪丸裕和 福井昌文	環境問題 豊前市立図書館の運営 サッカーグラウンドの確保 市バスの見直し
						新世会			山崎廣美 秋成茂信 今本文徳

健友会の質問

職業訓練センターの問題

古川議員 3月議会でも職業訓練センターについて質問したが、その後の国の動向及び県の対応をお聞きしたい。

まちづくり課長 国の方針として、施設は地元の意向を尊重して譲渡することだが、譲り受けの意思がない場合は、平成23年度中に取り壊しを行うとのことだ。また、県の人件費に対する補助はこれまでどおり継続していくとのことだ。

古川議員 職業訓練センターの存続について、再度市長の意見を伺いたい。

市長 自動車150万台推進地域の中核として、近隣市町等と相談し、地域のため存続するよう頑張っていく。

古川議員 技能取得やスキルアップができる大事な施設である。施設が古く、維持管理費がかかると思うが、近隣市町と相談し、存続に向けての対応をお願いしたい。

子ども手当

古川議員 子ども手当が豊前市でも支給されているようだが、どのようにして対象者を把握しているのか。

福祉課長 住民基本台帳により把握し、転入・出生などについても随時確認している。また、学校、保育園、幼稚園に対してもチラシ等を配布し、周知に努めている。なお、未申請の方には、通知を発送するようにしている。

古川議員 保育料の滞納者に対する、子ども手当からの納付の対応についてお伺いしたい。

福祉課長 保育料に対する子ども手当からの天引き及び差押えは、法律で禁止されている。しかし、6月の支給に先立ち、数人の滞納者から納付の約束がとれている。

豊前市所有の消防車

尾家議員 豊前市の集落は、自然発生的にできたものが多く、都市計画で作った集落ではない。そのため道も狭く、入り組んでいる。地域の実情を考慮

した消防車の配備が必要と思うが、市の考えはどうか。

総務課長 消防団の組織は現在12分団あり、1台のみ所有の分団もあれば、複数台所有の分団もある。複数台所有の分団については、中核はポンプ車、その他は軽の積載車と分団長会議で決定している。

尾家議員 軽の積載車では消防ホースが7本しか乗せられない。地区によっては、7本では水源から届かないところもある。地区の特性を考慮し、消防車両の再度検討をお願いしたい。

市長 今まで分団長会議で議論してきたこともあり、議員の指摘も理解できるので、今後十分議論したい。



豊前市体育協会の補助金

吉永議員 体育協会から各種団

体に補助金を支給しているが、その補助金額に算定根拠はあるのか。

教育課長 体育協会には、地域の公民館ごとの支部11団体と専門部20団体があり、それらへの助成金は、理事会・評議委員会

で審議・決定されている。

吉永議員 教育委員会には内部規定等はないのか。

水道企業団の自治体負担率の見直し

吉永議員 3月議会で、水道企業団での責任水量や財政負担率の見直しをお願いしていたが、構成団体との見直しの協議は進んでいるのか。

市長 5月に企業団の運営協議会があったが、正副会長選任の話だけで、責任水量等の協議はなかった。今後、担当者間で協議することとなった。

吉永議員 安定した水の供給が第一であるが、財政負担をできるだけ削減し、本格的な見直しをお願いしたい。また、新政権になり、ダム事業の見直しが行われているが、伊良原ダムの建設の見直しはどうか。

水道課長 県に確認したところ、建設に向けて準備を進めているとのことだ。

吉永議員 今後、計画が大きく変更になるときは、議会に直ちに報告をお願いしたい。

市立図書館

吉永議員 3月議会で、図書館の運営についての質問をしたが、3月議会後、どのような議論をしたのか伺いたい。

教育長 年4回モニタリングを行い、施設の管理運営に関する協議会を開いている。

吉永議員 モニタリングをして連携をとっているとのことだが、市民の税金を投入し、運営を任せているのだから、しっかりとチェックをお願いしたい。

公契約条例

吉永議員 この公契約条例についても、先の3月議会において質問し「先進地の事例を検討したい」との答弁だったが、3月議会後、どのような検討をしたのか伺いたい。

財務課長 全国に先駆けて千葉

県野田市が施行している。しかし、すぐに結果が出るものではないので、少し施行の状況を見て判断をしたい。

風のぜんの質の会

築上北高跡地利用

岡本議員 築上北高のグラウンド跡地は、新産業ゾーンとして利用するという構想があり、これに基づいて、今回、市は株式会社大和リースと複合的商業施設の建設に関し協定を結ぶようだが、規模はどうか、お聞きしたい。

まちづくり課長 全体面積2万7千㎡に対し、建坪が5千㎡から6千㎡程度の規模になると思われる。

岡本議員 高校跡地には、既に図書館、埋蔵文化財センターがオープンしており、今秋には多目的ホールも開館するようだが、この商業施設は駐車場の確保ができてくるのか。

まちづくり課長 250台を計

画している。

山本議員 新産業ゾーンは、地元の農産物を加工・販売するという6次産業化のために活用し、豊前らしい、特徴あるまちづくりを目指すべきではないか。

まちづくり課長 関係機関と協議をし、売り場設定を考えながら、地元の新鮮な食材を市民の方々に味わっていただきたいと考えている。

尾澤議員 搬入口が交差点付近にあれば、渋滞が予想され、事故の危険性が高いと思うが、いかがか。

まちづくり課長 搬入については、左折を基本としている。交通の障害や事故の無いよう、提案していきたい。

尾澤議員 市が事業をする場合は、地場産業の育成や活性化を考慮すべきではないか。

市長 地元で還元できるように、極力地元優先に力を入れたい。

築上中部高跡地利用

岡本議員 中部高校跡地は、統合中学校の用地として利用するという案が出ていたようだが、他にはどのような案があるのかお聞きしたい。

財務課長 高校跡地利用審議会
の答申では、統合中学校用地と
して保有するという事になって
いるが、中心市街地整備や街
路整備、また企業研修施設等
の誘致が可能であれば、そのよ
うな利用も考慮するという内容
になっている。

岡本議員 現在、中学校は通学
区域がはつきりと線引きされて
いる。それを緩和して、市内の
どこからでも希望があれば、ど
の中学校にも通えるということ
にしてはどうか。

教育課長 通学区審議会等の
意見を聞きながら検討したい。



築上中部高校跡地

子ども手当

岡本議員 子ども手当が6月か
ら支給されるようだが、まだ申

請していない方への対応はどう
なっているのか。
福祉課長 未申請の方には、7
月に通知を出す計画をしてい
る。

農業振興

山本議員 今年の作付けはどう
か、農業収入見込みはどうか、
お尋ねしたい。

農林水産課長 現在集計中だ
が、転作率は41%で、水稲の
作付けは884haになる模様
だ。農業収入は、全体で約1
600万円の増収が見込まれ
る。

山本議員 口蹄疫に対し、豊前
市ではどのような対策をとつ
ているのか。

農林水産課長 家畜用と愛玩用
の実態調査を行い、県の家畜保
健衛生所と連携をとり、防疫を
実施している。

山本議員 臭気が問題となつて
いる鶏糞を田畑の肥料として使
う、循環型農業の取組みにつ
いてお聞きしたい。

農林水産課長 今年7月に新し
い機械を導入することになって
おり、発酵鶏糞の利用を促進し
たい。また、家畜排泄物の堆肥
化をし、環境保全型農業の取り

組みも進めていきたい。

山本議員 「あまおう」や「と
よみつひめ」を地域の特産とし
て、さらに販売促進するため
に、行政の積極的な支援が必
要と思うが、いかがか。

農林水産課長 県事業について
は、市としても上乘せ補助をし
ている。

尾澤議員 農業振興には、販路
の確保がぜひ必要と思うが、販
路計画はどうなっているか。

農林水産課長 「とよみつひめ」
に関しては、フライト事業によ
って関東方面での需要を高める
ためのPRを考えている。

国と地方の関係

山本議員 先日、誕生した菅新
内閣をどう思うか、また、菅内
閣は福祉を重点的に推進してい
くようだが、市長はどのように
捉えているか、お聞きしたい。

市長 スタッフも若く、相当頑
張るのではないかと思ってい
る。また、政策面では、世界
を見ても、福祉で成功している
のはスウェーデンぐらいではな
いかと思う。都会と地方では状
況が違う。地方のこと、豊前の
ことを考えてほしいと思ってい
る。

新世会 の質問

漁業振興

山崎議員 漁業が逼迫して厳し
い状況の中、まずは豊前海にお
ける漁場の整備が必要だと思
うがその対策は。

農林水産課長 アサリ貝につ
いては、覆砂事業や増殖場の造
成、今年度からは、漁礁の設
置を予定している。また、カキ
棚を増やしたり、カニ等につ
いては、蓄養の検討など漁業組合
と協議し、漁場の整備にあたり
たい。

山崎議員 早急に漁場の整備を
し、漁獲量の安定を図ってほ
しい。

漁師食堂「うのしま豊築丸」
の集客数、販売状況はどうな
っているか。

農林水産課長 平成21年度の
集計では、
・ 来場者数 約6330人
・ 売り上げ 918万円

豊前市の特産である一粒ガキや
豊前本ガ二等のシーズンには、
販売も行っている。

山崎議員 豊前海で獲れた海の

幸をもつとPRして、漁業振興
へとつなげてほしい。また、漁
業で生活している方や、後継者
の育成等についても行政の支援
が必要である。漁業組合と連携
しながら、漁業の活性化に向け
て市も努力してもらいたい。

農業委員会

山崎議員 耕作放棄地が全国的
に問題になっているが、その対
策・有効活用はどうか。

農委局長 耕作放棄地防止・解
消のため農地パトロールを実施
している。平成21年度は、農業
委員による個別指導を強化した
ことでかなり改善している。

山崎議員 土地を提供して農業
に参入してもらうなど、耕作放棄
地の再生・有効活用を考えるべき
だ。農業委員会、農林水産課と
連携し、協議してもらいたい。

市長 豊前市耕作放棄地対策協
議会を立ち上げ、体制を整えて
いる状況である。

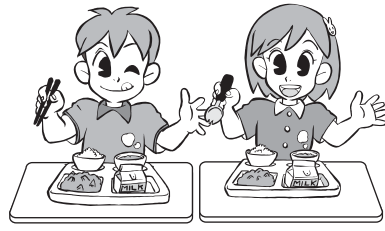
食育計画

山崎議員 農業体験学習は、子
どもに「食」の大切さを教える

のに必要だと思うが、学校での取り組みは。

教育課長 小学校の総合学習の中で、稲作体験や野菜など作物の栽培を行い、食育についての勉強をしている。

山崎議員 「豊前市食育推進計画」が制定された。食の見直し安全性という中で、学校給食での地場産の利用促進を行ってほしい。



小学生の体力の実態

今本議員 文部省が実施した、全国体力テストの結果はどうだったのか。

教育課長 本市については、ほとんどの種目において、全国平均を下回っている。

今本議員 子どもの体力づくりは、体育の時間以外にも必要である。体力を伸ばすため、学校

教育全体を通して指導してもらいたい。

夏休み中のラジオ体操

今本議員 豊前市において、夏休み期間中のラジオ体操実施状況について伺いたい。

教育課長 学校単位での実施状況は不明である。現在、ラジオ体操は自主的活動のため、各区の子ども会単位で取り組んでいるようだ。早寝・早起きの生活習慣をつけるためにも、今後、校長会の中で実施してもらおうようお願いしたい。

児童の通学路の整備

今本議員 黒土地区から国道10号線までの交通量増加のため、子どもや高齢者の安全対策をお願いしたい。

建設課長 県道鬼木・三毛門線については、路線上、最も狭隘である岸井（釘丸池）の土工、擁壁工を10月頃実施予定である。また、通学路を含む道路拡張に関しては、今後も県に対して早急に実施してもらおうよう強く要望していきたい。

市道堀立10号線の延長

今本議員 堀立く吉野プラスチック工場北側の道路拡張について進捗を伺いたい。

建設課長 市道堀立2号線については、平成12年度に、堀立地区く千束中学校までの通学路整備ということで要望があり、取り組みを行ってきた。現在、塔田地区く岩岳川までの道路は完成しているが、それより東側については、既存する企業の拡張計画や、地権者の同意が得られないことにより事業が進まない状況である。

豊友会の質問

保育料の見直し

榎本議員 保育料は、同時に保育園に通っている場合に限り、2人目半額、3人目以降は無料となっているが、同時に在園しなくても、戸籍上の2人目から無料にするということではできないのか、お尋ねしたい。

市長 問題は、財源だ。2人目から無料にすると、1億円以上は必要になると思う。しかし、研究してみたいと思っている。

磯永議員 子どもを育てる親の世代は一番お金がかかるが、収入の少ない世代だ。保育料の減免により、若い夫婦世帯の支援をするべきではないか。

市長 医療の問題、固定資産税減税の問題の目途がついてきた。これで漸く保育料の問題に取り組みると思っているところだ。

磯永議員 負担の公平を図るということから、市税や保育料などの滞納者に対し、子ども手当を充当するという考えはないのか。

市長 強制的に振込みを相殺することはできないが、直接会って話をし、納付していただくと考えている。

学校教育等

榎本議員 「教育基本法」その他の法律に基づき、教育委員会は学校現場に対しどのような取り組みをしているのか。

教育課長 教育委員による会議は、毎月10日前後に開催している。また、教育委員は、2人1組で

学校訪問をし、授業の様子や学校からの要望事項を聞くなどしている。

榎本議員 先般、新聞に「フオロひまわり」という不登校対策の教室を開催するという記事が出ていたが、開設にあたって、教育委員会はどのような話し合いをしたのか。

教育課長 NPO法人「築上豊前教育相談研究所」から、障害があつて学校に行けない子や家に引きこもっている子たちのために、居場所を作つてあげたいという話があつた。

磯永議員 各中学校にはクラブ活動があるが、外部コーチはどの位いるのか。また、保護者の方も部活に非常に関心を持っているが、部活の運営費にご苦労されているように、予算の確保が必要と思うが、いかがか。

市長 各中学校ごとの外部コーチの数は正確には把握していないが、数名ずついると思う。各学校にいくらかは予算をつけている。

磯永議員 スポーツを指導できる教育者をぜひ確保してほしい。

児童・生徒及び市民の安全対策

榎本議員 これまでもにも議会で

何度か廃屋対策について議論してきたが、通学路についてその後のような対応をしてきたのか。

教育長 地域の方々とPTAの皆様と通学路の点検をし、廃屋など危険箇所がある場合は、そこを避けて通学するよう指導している。

磯永議員 危険箇所を回避できない場合はどうするのか。早急に現地を見て、関係課と対応してほしい。

榎本議員 三毛門駅周辺で車へのいたずらや自転車の盗難が発生したり、若者がたむろしているという話を聞く。市はどのような対応をしているのか。

財務課長 地元区長会に駅舎の維持管理や防犯活動をお願いするようになってからはそういったことはあまり見られなくなつたと聞いている。ただ、街頭犯罪は増えているようなので、豊前警察署とも連携を取りながら、対応したい。



国道10号線北側

国道10号線以北の土地利用計画と農業振興

榎本議員 国道10号線以北の農地は、耕作放棄され荒れた田も多く、また、家も虫食い状態で建つたりしている。早急に土地利用計画を策定すべきではないか。

まちづくり課長 平成15年に策定された都市計画マスタープランで、周辺農地と調和のとれた住宅地の整備や内陸型の工業の集積を図る地域として位置づけをしている。

榎本議員 現実には進んでいない。土地利用計画を早急につけて具体策を示してほしい。

就労機会の確保と地場産業の育成

榎本議員 豊前は、農林業の盛んなところだ。たとえば、地元産の木材を使用して家を建てた場合、10年間固定資産税を免除するといった考えはないか、お聞きしたい。

市長 そういった優遇的な措置をやるか、検討してみたい。

榎本議員 福岡県は、高校新卒者を臨時職員として雇用しているという話を聞いた。豊前市で

も取り組んでみてはどうか。
市長 ご指摘の点について、検討してみたい。

同志会の質問

環境問題

爪丸議員 宇島の舟溜まりの水質調査についてお聞きしたい。

生活環境課長 平成22年5月に調査を実施した。調査結果は7項目中、5項目が基準値を超えており、管理者である県に改善の依頼をしている。

爪丸議員 水質が基準を上回っている要因は何か。

生活環境課長 家庭からの生活雑排水の流れ込みとヘドロの堆積によるものと考えられる。

爪丸議員 以前、県が宇島港に関する協議会を設立したと聞いたが、どうなったのか。

まちづくり課長 県から平成20年度に宇島港統合補助事業により整備を図りたいという申出があり、地元住民とともに協議会を創設し、協議を重ねたが、21年1月より一時中断状態である。

爪丸議員 21年1月より1年半近く経過しており、埋め立て等の話も出ている。協議を一刻も早く再開し、地元の要望に答えたい。

まちづくり課長 6月議会終了後に、地元との協議を再開するよう県と連絡を取りたい。

豊前市立図書館の運営

爪丸議員 2年前より図書館の運営を指定管理者制度でNPO法人に委託している。その法人から出された決算書を見ると、決算額が委託額と同額になっている。1円も変わらず、ちょうど決算なんて考えられない。市はどのように考えるのか。

教育課長 この決算書は、委託料である2500万円の内訳を示したもので、NPO法人全体の決算ではない。

爪丸議員 平成22年度の委託料だが、21年度と比べて150万円増額になっており、建物が新しくなり光熱水費など160万円程度を市費で支払うため、実質310万円程度が増額となっている。増額した要因はなにか。

教育課長 新しい施設となるため、職員を増やすと聞いている。
爪丸議員 NPO法人やハロー

ワークに確認したところ、増やさないとのことだ。どうなっているのか。

教育長 その件に関しては、調査してから後日回答する。

爪丸議員 予算額で実質310万円が増額となっているのだから、しっかりと調査をお願いしたい。また、決算についても、監査機能の強化をしてほしい。



豊前市立図書館

サッカーグラウンドの確保

福井議員 子どもたちのサッカー人口は増え続け、今や野球と並ぶスポーツとなっている。しかし、試合をしようとしても専用のグラウンドがなく、場所の確保に苦労している状況だ。サッカーグラウンドを確保してもらいたい、豊前市の考えをお

聞きしたい。

教育課長 現在、市内には専用施設はなく、利用可能な施設として、天地山グラウンド、南部グラウンドと民間施設の九電グラウンドがある。これらの施設を有効活用してもらいたい。

福井議員 試合などにはコートが数面必要で、天地山グラウンドが最適だが、地面がガチガチで硬く、また、池や道路に対する防護ネットがないため非常に危険だ。

まちづくり課長 天地山グラウンドは多目的運動広場とイベント時の駐車場としての用途があり、サッカーをするには、整備が不十分との指摘を受けている。

福井議員 ここ数年、県大会や九州大会、全国大会などに出場するチームがあり、市内の少年サッカーのレベルはかなり上がっている。サッカーグラウンドの整備、確保をお願いしたい。

市バスの見直し

福井議員 市バスの利用者数は前年度と比べて増えているのか。

総務課長 20年度と21年度を比較すると約6000人の利用者の減少だ。

福井議員 岐阜市では、住民に

停留所の設置や回数券の販売、広告のとりまとめ等を任せることにより、高い利用率を確保している。市もそのような取り組みをしてみてもどうか。

総務課長 豊前市でも、地元住民や議員で構成するバス路線対策協議会を設置し、協議をしている。

福井議員 利用者増及び地球温暖化対策の一環として、月に一度ノーマイカーデーを作り、職員通勤に市バスを使ってみてどうか。

総務課長 市バスのダイヤは、児童生徒の登下校を基本に組んでおり、通勤では時間が合わず使いづらい状況だ。

福井議員 市民から路線変更やダイヤ改正などの意見を聞き、一人でも多くの人に利用してもらえようようなバスにしてみたい。

無党派の質問

教育環境の充実

鎌田議員 豊前市の読書活動推

進の取り組みについて伺いたい。

教育課長 乳幼児期から本に触れ合ってもらうように、4カ月健診時に絵本のプレゼントや保育園、小・中学校へ移動図書館（ブックン）を運行し、本の貸し出しを行っている。新図書館が出来たことで、読書活動の場として多くの方々の利用を期待したい。

鎌田議員 読書アドバイザー・読み聞かせアドバイザーなど、人材育成の取り組みについての市の考えは。

教育課長 市内にも読書推進に関する講座や研修会に参加し、読み聞かせ等のボランティア活動をしている方がいる。また、市立図書館でも図書館司書の講習等をして人材育成を行っている。

鎌田議員 発達障害や弱視等の視覚障害で、「読む」ことが困難な児童や生徒に対して、デジタル教科書等が全国に広がっている。市としても採り入れて教材に利用してもらいたい。

鎌田議員 平成19年度に、「新学校図書館図書整備5カ年計画」ができた。これは、学校図書館の充実が目的で文科省が定めた施策だが、多くの小・中学校において蔵書数が標準を満たしていない状況である。予算を付けて、本を増やすことはできないのか。

教育課長 各学校に図書費として予算配分をしている。今後、少しでも本を増やし、学校図書館の充実を考えていきたい。
鎌田議員 校庭の芝生化について、だが、芝生は強い、安い、管

デジター教科書

平成20年9月に「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」（教科書バリアフリー法）が施行された。

通常の教科書と同様のテキストと画像を使用しデジタル化に対応、テキスト文字に音声を組み合わせ、読むことを可能にした教科書。今後、普及促進への期待が高まる。

理が簡単であること、温暖化防止や子ども達が裸足で思いきり遊ぶことができるということなどで全国に広がっている。市としても保育園でのモデル事業をぜひやってほしい。

危機管理の取り組み

鎌田議員 水害発生時だが、雨量や水位によって、避難勧告や避難指示を出す発令基準を設けているのか。

総務課長 昨年度、防災計画の修正を行い、同時に、避難基準の設定も見直した。

鎌田議員 豊前市には防災無線がないが、災害があった場合の連絡方法はどうか。

総務課長 市の広報車等を利用して市民に呼びかけをする。また、消防団組織や区長の協力により広報活動や避難誘導をお願いしている。

鎌田議員 災害時の要援護者の避難対策について市の取り組みを伺いたい。

総務課長 今年度より福祉課において「高齢者見守り社会参加促進事業」に取り組んでいる。その調査結果に基づき要援護者の避難対策に活用し、避難マニュアルを作成していきたい。

全国市議会議長会表彰

5月26日に東京で開催されました、第86回全国市議会議長会定期総会におきまして、次の方々が市政の振興に寄与した功績が認められ、表彰されました。



古川哲也 議員
(議員10年表彰)

爪丸裕和 議員
(議員10年表彰)

中村勇希 議員
(正副議長 4年表彰)

吉永宗彦 議員
(議員30年表彰)

作品 掛け替え

5月18日に青豊高校書道部の部員3人が市議会議員控室と市長室の書作品を掛け替えにきました。前身の築上中部高校時代からの恒例行事で、今年で13回目となります。

議員控室には、今春卒業した前部長の末広真知子さんの作品「明德通虚降福自天」が飾られました。

同部は、市役所のほか豊前警察署や消防署、小学校、民間企業など約10か所に書の貸し出をしているそうです。



議会棟 議員控室

次の定例市議会は9月です

■ 議会を傍聴しましょう ■

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

■ 会議録閲覧のお知らせ ■

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたい方は、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

編集後記

民主党政権が進める「地域主権」によって、自・公政権の下、減らされ続けてきた地方交付税が増額され、地方自治体は一様に息づいています。今後も地域主権政策は推し進められ、1～2年後には使い方が地方で自由に決められる“一括交付金”が交付されるようです。今まで国の補助事業メニューに乗って事業を起こしていればよかったが、今後は使い方が自由なだけに、市民生活の安定と向上のためにどのような事業を起こしていくか、自治体の責任と力量が問われることとなります。それは我々議員も同様であると思えます。

我が豊前市も第一段階として、議会からの再三にわたる提案の結果“乳幼児医療費の拡充”が6月議会で実現できました。

今後も市民生活の向上に向けて、我々も精一杯努力していきたいと思えます。

福井昌文

◆ 発行: 豊前市議会 ◆ 編集: 編集委員会 ◆ 印刷: 上森印刷所

編集委員 | 委員長 山本章一郎 / 副委員長 鎌田晃二 / 委員 今本文徳・岡本清靖・福井昌文